

品種保護対策業務実施要領

第１ 目的

この要領は、品種保護対策業務実施規程（２８規程第１４６号。以下「規程」という。）各条において、別に定めることとされている品種保護対策業務の実施に関し必要な様式その他について定めることを目的とする。

第２ 用語

この要領において使用する用語は、規程において使用する用語の例による。

第３ 第５条（品種類似性試験）関係

１ 以下の（１）～（６）の全ての条件を満たす場合に品種類似性試験の依頼に応ずることとし、満たさない条件がある場合はこの条の第５項に基づき依頼に応じないこととする。

（１）試験の対象品種が以下に掲げる品種のいずれかであること

- ア 育成者権侵害の疑いに係る登録品種
- イ 仮保護期間中の補償金請求に係る出願品種

（２）試験依頼者が以下に掲げる者及び機関のいずれかであること

- ア 試験の対象品種の育成者権者又は専用利用権者
- イ 試験の対象品種の出願者（試験の対象品種が出願品種の場合）
- ウ 試験の対象品種の育成者権侵害を訴えられた又はその恐れがある者
- エ 試験の対象品種の仮保護期間中の補償金請求を訴えられた又はその恐れがある者
- オ 先育成に係る品種の育成者
- カ 上記ア～オの代理人
- キ 農林水産省、財務省、捜査機関又は司法機関

（３）試験の比較品種が以下に掲げる品種でないこと

- ア 登録品種
- イ 取下げ、放棄、拒絶又は却下されていない出願品種
- ウ 試験の対象品種の出願より前に公知となっていたことが明らかな品種

（４）試験の比較品種が以下に掲げる品種のいずれかであること

- ア 登録品種等に係る育成者権侵害疑義物品
- イ 種苗法第２７条に規定される先育成に係る種苗

ウ 捜査機関又は司法機関からの鑑定嘱託書において鑑定依頼のあった品種

(5) 試験依頼者の依頼理由が以下の内容ではないこと

- ア 登録品種の品種登録の要件を否定するため
- イ 出願品種の品種登録の要件を否定するため

(6) 以下に掲げる事情がないこと

ア 試験依頼者が希望する結果報告書の受領時期では試験の実施が困難である。

イ 試験依頼者が提出する試料では試験の実施が困難である。

ウ 種苗管理センター（以下「センター」という。）で品種類似性試験を行う場合

（ア）センターがDNA分析による品種類似性試験を実施できない植物である。

（イ）センターが保有する施設、機械又は技術が試験の実施に不十分である。

（ウ）センターが立地する場所の気象条件では試験の実施が困難である。

エ 規程第7条の2の品種類似性試験の委託の場合

（ア）ウの（ア）～（ウ）の全てに該当せず、センターで試験が実施できる。

（イ）規程第7条の2第2項の要件を満たす機関がない。

（ウ）委託しようとする機関では、試験依頼者からの品種類似性試験の依頼が受けられる。

（エ）委託しようとする機関は、センターとの間で品種類似性試験実施のための委託契約が締結できない。

（オ）DNA分析の場合、試験依頼者が希望するDNA品種識別技術が、「DNA品種識別技術の妥当性確認のためのガイドライン（令和4年度改訂版）」（農林水産省輸出・国際局知的財産課）（以下「妥当性ガイドライン」という。）の「6-6. 試験室内妥当性確認」又はこれに準じた方法により、妥当性確認が行われていない技術である。

（カ）DNA分析を委託しようとする機関は、内部規定等により妥当性ガイドラインの「6. 妥当性確認」の①～④を満たすことが確認できない。

オ 上記以外に試験の実施が困難な理由がある。

2 この条の第2項の「別に定める試験依頼書」は別記様式1、第6項の「別に定める報告書」は別記様式2のとおりとする。

3 センターは、必要に応じて農林水産省職員、所長が認める学識経験者等に対し、品種類似性試験のうち特性比較及び比較栽培の実施に関して協力を依頼することができる。

第4 (削除)

第5 第8条(侵害状況記録の作成及び寄託)関係

1 この条の第1項の「育成者権侵害疑義物品」は以下に掲げる品種を除く。

(1) 登録品種

(2) 取下げ、放棄、拒絶又は却下されていない出願品種

2 以下の(1)～(3)の全ての条件を満たす場合に侵害状況記録の作成の依頼に応ずることとし、満たさない条件がある場合はこの条の第4項に基づき依頼に応じないこととする。

(1) 侵害状況調査の対象品種が以下に掲げる品種のいずれかであること

ア 育成者権侵害の疑いに係る登録品種

イ 仮保護期間中の補償金請求に係る出願品種

(2) 作成依頼者が以下に掲げる者及び機関のいずれかであること

ア 侵害状況調査の対象品種の育成者権者又は専用利用権者

イ 侵害状況調査の対象品種の出願者(侵害状況調査の対象品種が出願品種の場合)

ウ 上記ア及びイの代理人

エ 農林水産省

(3) 以下に掲げる事情がないこと

ア 作成依頼者が希望する侵害状況調査が立入調査、物品押収等の相手に対する強制を伴うものである。

イ 虚偽の理由による依頼である。

ウ 上記以外に侵害状況調査の実施が困難な理由がある。

3 以下の(1)～(3)の全ての条件を満たす場合に寄託の依頼に応ずることとし、満たさない条件がある場合はこの条の第4項に基づき依頼に応じないこととする。

(1) 寄託物の対象品種が以下に掲げる品種のいずれかであること

ア 育成者権侵害の疑いに係る登録品種

イ 仮保護期間中の補償金請求に係る出願品種

ウ 種苗法第27条に規定される先育成に係る品種

(2) 寄託依頼者が以下に掲げる者及び機関のいずれかであること

ア 寄託物の対象品種の育成者権者、専用利用権者又は通常利用権者

イ 寄託物の対象品種の出願者(寄託の対象品種が出願品種の場合)

ウ 寄託物の育成者(寄託物が先育成に係る品種の場合)

- エ 寄託物の対象品種の育成者権侵害を訴えられた又はその恐れがある者
- オ 寄託物の対象品種の仮保護期間中の補償金請求を訴えられた又はその恐れがある者
- カ 上記ア～オの代理人
- キ 農林水産省、捜査機関又は司法機関

(3) 以下に掲げる事情がないこと

- ア センターが保有する施設、機械又は技術が寄託の実施に不十分である。
- イ センターが立地する場所の気象条件では寄託の実施が困難である。
- ウ 寄託依頼者が提出する寄託物では寄託の実施が困難である。
- エ 上記以外に寄託の実施が困難な理由がある。

4 この条の第2項の「別に定める依頼書」は別記様式3又は別記様式4、第5項の「別に定める記録書」は別記様式5のとおりとする。

第6 第11条（寄託物の提出等）関係

この条の第2項の「別に定める寄託開始通知書」は別記様式6のとおりとする。

第7 第12条（寄託物の保管期間）関係

この条の第2項の「別に定める寄託更新依頼書」は別記様式7のとおりとする。

第7の2 第12条の2（寄託物の保管期間中の管理）関係

1 以下の（1）の全ての条件を満たす場合に寄託物の管理の立会いの依頼に応ずることとし、満たさない条件がある場合はこの条の第3項に基づき依頼に応じないこととする。

(1) 以下に掲げる事情がないこと

- ア 寄託物の管理の立会いの依頼者は、当該寄託物の寄託の依頼者又は依頼者の代理人とは異なる。
- イ 管理作業の中でセンター職員が立ち合うことができない工程がある。
- ウ 上記以外に寄託物の管理の立会いが困難な理由がある。

2 以下の（1）の全ての条件を満たす場合に寄託物の記録の作成の依頼に応ずることとし、満たさない条件がある場合はこの条の第6項に基づき依頼に応じないこととする。

(1) 以下に掲げる事情がないこと

- ア 寄託物の記録の作成の依頼者は、当該寄託物の寄託の依頼者又は依頼者の代理人とは異なる。
- イ 上記以外に寄託物の記録の作成が困難な理由がある。

- 3 この条の第2項の「別に定める依頼書」は別記様式8、第5項の「別に定める依頼書」は別記様式9、第7項の「別に定める記録書」は別記様式10のとおりとする。

第8 第14条（寄託物の返還）関係

この条の第1項の「別に定める返還請求書」は別記様式11、第2項の「別に定める寄託証明書」は別記様式12のとおりとする。

第8の2 第14条の2（種苗の生産）関係

- 1 以下の（1）～（3）の全ての条件を満たす場合に種苗の生産の依頼に応ずることとし、満たさない条件がある場合はこの条の第4項に基づき依頼に応じないこととする。

（1）生産する種苗が以下に掲げる品種のいずれかであること

ア 品種類似性試験の比較品種又は寄託物若しくはそれらを予定している品種

イ 種苗法第35条の3に基づく判定（以下「判定」という。）の対象品種

（2）生産依頼者が以下に掲げる者及び機関のいずれかであること

ア 試験依頼者、寄託依頼者又は判定の請求者若しくはそれらを予定している者

イ アの代理人

（3）以下に掲げる事情がないこと

ア センターが保有する施設、機械又は技術が種苗の生産の実施に不十分である。

イ センターが立地する場所の気象条件では種苗の生産の実施が困難である。

ウ 生産依頼者が希望する時期までに生産の実施が困難である。

エ 生産依頼者が提出する試料では生産の実施が困難である。

オ 上記以外に種苗の生産の実施が困難な理由又は種苗の生産を実施すべきでない理由がある。

- 2 この条の第2項の「別に定める依頼書」は別記様式13、第5項の「別に定める種苗生産結果報告書」は別記様式14、第7項の「別に定める返還請求書」は別記様式15のとおりとする。

第8の3 第14条の3（依頼者の名義等の変更）関係

この条の第1項の「別に定める変更届」は別記様式16のとおりとする。

第 9 第 15 条（複本）関係

この条の第 2 項の「別に定める複本請求書」は別記様式 17 のとおりとする。

第 10 第 16 条（品種類似性試験等の中止）関係

この条の第 3 項の「別に定める取下げ申請書」は別記様式 18 のとおりとする。

第 11 第 17 条（品種保護対策業務の手数料等）関係

この条の第 1 項の別記「1 品種類似性試験の手数料」のうち、「関係行政機関、学校等における特性比較の実施に要する額」、「関係行政機関、学校等における比較栽培の実施に要する額」及び「関係行政機関、学校等における DNA 分析の実施に要する額」については、本部管理本部藤本・大わし管理部長は依頼毎に試験の実施に要する額を手数料額として算出した見積書を作成し、依頼者に対し通知する。

第 12 第 21 条（農林水産大臣からの嘱託による DNA 鑑定）関係

この条の第 2 項の「別に定める鑑定結果報告書」は別記様式 19 のとおりとする。

附則

この要領は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附則（平成 30.12.25 30-3 要領第 1-2 号）

（適用日）

この要領は、施行日以降に接受した依頼に対して適用する。

附則（平成 31.3.29 30-4 要領第 1-3 号）

（適用日）

この要領は、施行日以降に接受した依頼に対して適用する。

附則（令和 4.4.25 4-2 要領第 1-4 号）

（適用日）

この要領は、施行日以降に接受した依頼に対して適用する。

附則（令和 6.2.28 5-4 要領第 1-5 号）

（適用日）

この要領は、施行日以降に接受した依頼に対して適用する。

附則（令和 6.11.25 6-5 要領第 1-6 号）

（適用日）

この要領は、施行日以降に接受した依頼に対して適用する。

品種類似性試験依頼書

年 月 日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター所長 殿

(ふりがな)

(依頼者) 氏名又は名称 _____

(代表者氏名) _____

住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____ - _____

品種保護対策業務実施規程（以下「実施規程」という。）第5条第2項の規定により、
下記により品種類似性試験を依頼します。

また、私は、実施規程の内容を理解した上で、その内容に従うことに同意します。

記

- 1 登録（又は出願）品種の植物の種類、品種名称及び登録（又は出願）番号
植物の種類
品種名称
登録（出願）番号
品種登録（出願）者（依頼者が品種登録（出願）者と異なるときに記入してください。）
氏名又は名称
(代表者名)
住 所
電話番号
- 2 比較品種（侵害の疑いのある品種）名称
- 3 依頼理由（依頼に至った経緯について、できるだけ詳細に記入してください。）
- 4 依頼する内容（希望する項目の前の□にレをつけてください。複数選択可。）

- 9

者が試験を依頼する場合には、品種登録（出願）者からの問い合わせや警告があった経過等について記入してください。

- ④ 依頼者と連絡先が同一の場合は、「10 連絡先（担当者）」の欄は、FAX 番号及び E-mail アドレスを除いて省略できます。依頼者が法人又は複数の場合は、担当者又は代表者の連絡先を必ず記入してください。
- ⑤ 代理人が試験を依頼する場合は、必ず委任状を添付してください。

殿

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
種苗管理センター所長

品種類似性試験（試験の種類）結果報告書

（元号） 年 月 日付けをもって依頼のありました（植物の種類）の
「（登録（出願）品種名称）」と「（比較品種名称）」の品種類似性試験の結果を以下のとおり通知します。

1 品種類似性試験整理番号 _____

2 依頼の内容

3 試験に供した試料

（1）試料の入手時の状況

① 登録（出願）品種名称： _____

登録（出願）番号：第 _____ 号

入手年月日：（元号） 年 月 日

入 手 先： _____

入手方法： _____

入手時の試料の形態及び数量： _____

入手時の試料の状態： _____

② 比較品種名称： _____

入手年月日：（元号） 年 月 日

入 手 先： _____

入手方法： _____

入手時の試料の形態及び数量： _____

入手時の試料の状態： _____

（2）試験に使用した植物組織： _____

4 試験を行った場所、期間及び担当者

（1）実施場所・所在地： _____

（2）実施期間：（元号） 年 月 日 ～ （元号） 年 月 日

（3）試験担当者名： _____

5 試験方法

6 試験結果

以上

（本報告書の無断複製を禁止します。）

侵害状況記録作成依頼書

年 月 日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター所長 殿

(ふりがな)

(依頼者) 氏名又は名称 _____

(代表者氏名) _____

住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____ - _____

品種保護対策業務実施規程（以下「実施規程」という。）第8条第2項の規定により、
下記により侵害状況の調査及び記録の作成を依頼します。

また、私は、実施規程の内容を理解した上で、その内容に従うことに同意します。

記

1 登録（又は出願）品種の植物の種類、品種名称及び登録（又は出願）番号

植物の種類

(1) 品種名称

登録（出願）番号

(2) 品種名称

登録（出願）番号

(3) 品種名称

登録（出願）番号

(注) 侵害状況記録の作成を依頼する可能性がある品種をすべて記載してください。

2 侵害の疑いのある品種の名称（加工品の場合は、商品、製造業者及び販売業者の名称）

1 の (1) に対して 品種名称

1 の (2) に対して 品種名称

1 の (3) に対して 品種名称

(注) 品種名がわかる場合に記載してください。

3 依頼理由（依頼に至った経緯について、できるだけ詳細に記入してください。）

4 依頼する内容（（ ）の中は、該当するものに○印を付けてください。）

侵害状況記録の作成に係る調査を希望する時期

侵害状況記録の作成に係る調査を希望する場所

侵害状況記録の作成に係る調査に際して、種苗等の入手へのセンター職員の立会い
(希望する ・ 希望しない)

センター職員の立会いの下に入手した種苗等の寄託
(希望する ・ 希望しない)

センター職員の立会いの下に入手した種苗の品種類似性試験
(希望する ・ 希望しない)

センター職員の立会いの下に入手した種苗の増殖
(希望する ・ 希望しない)

(注) センター職員の立会いの下に入手した種苗等の寄託、品種類似性試験又は種苗の生産を希望する場合は、当該種苗等をセンターに提出したのち速やかに、以下の記載に基づき必要な依頼書の提出をお願いします。

※1 寄託を希望する場合

寄託依頼書(別記様式4)を提出してください。また、種苗の生産を伴う形態(別記様式10「種苗の生産依頼書」の記1の※2参照)の場合は、種苗等を入手した日付で種苗の生産依頼書(別記様式10)を提出してください。種苗の生産結果報告書を受領した後、速やかに寄託依頼書を提出してください。

※2 品種類似性試験を希望する場合

品種類似性試験依頼書(別記様式1)を提出してください。なお、比較栽培を希望する場合は、必要な数量を確保できるが種苗の生産を伴う形態の場合、又は必要な数量を確保できない場合は、種苗等を入手した日付で種苗の生産依頼書(別記様式10)を提出してください。種苗の生産結果報告書を受領した後、速やかに品種類似性試験依頼書を提出してください。

※3 判定調査を希望する場合

後日、判定の受理の通知の写しを提出してください。なお、必要な数量を確保できるが種苗の生産を伴う形態の場合、又は必要な数量を確保できない場合は、種苗等を入手した日付で種苗の生産依頼書(別記様式10)を提出してください。

(上記の内容をご確認の後、以下の□にレをつけてください。)

- ☐ 上記の内容を確認し、必要な依頼書を速やかに提出することに同意します。
☐ 依頼書を提出しない場合、入手した種苗等の適切な管理が行われない場合があることを承諾します。

5 侵害状況記録書の受領希望時期 年 月 日頃

6 複本の必要部数 部

7 その他参考となる事項

8 連絡先（担当者）

住 所 〒 _____
所 属 _____
氏 名 _____
電話番号（内線） _____ - _____ (_____)
FAX 番号 _____ - _____
E-mail アドレス _____

9 添付書類の目録（添付書類名の前の□にレをつけてください。）

☐ 委任状（代理人による依頼の場合）

☐ その他 （ _____ ）

（注）「その他」の場合、（ ）中に具体的に記入してください。

（記入上の注意）

- ① 黒又は青のインクで自書するか、ワープロソフトで記入してください。
- ② 依頼者が複数の場合は、依頼者記入欄を増やして全員の氏名又は名称、住所又は居所、電話番号を記入してください。
- ③ 「3 依頼理由」の記述に当たっては、侵害の疑いのある者の氏名又は名称（代表者名）、住所などを明確にし、経過を記入してください。
- ④ 依頼者と連絡先が同一の場合は、「8 連絡先（担当者）」の欄は、FAX 番号及び E-mail アドレスを除いて省略できます。依頼者が法人又は複数の場合は、担当者又は代表者の連絡先を必ず記入してください。
- ⑤ 専用利用権者が依頼する場合は、専用利用権者であることを証明する書類を添付してください。代理人が依頼する場合は、必ず委任状を添付してください。

寄託依頼書

年 月 日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター所長 殿

(ふりがな)

(依頼者) 氏名又は名称 _____

(代表者氏名) _____

住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____ - _____

品種保護対策業務実施規程（以下「実施規程」という。）第8条第2項の規定により、下記により寄託を依頼します。

また、私は、実施規程の内容を理解した上で、その内容に従うことに同意します。

記

- 1 寄託する品種（侵害の疑いのある品種）の植物の種類及び名称

植物の種類

品種名称

- 2 依頼理由（依頼に至った経緯について、できるだけ詳細に記入してください。）

- 3 依頼する内容（寄託物の種類、数量、保管方法、寄託物の使用）

(()) の中は該当するものに○印をつけ、その他の場合は具体的に記入してください。)

寄託物の種類 (種子 種菌 球根 切花 苗 収穫物
加工品 DNA その他 ())

寄託物の数量 _____

寄託物の保管方法 (栽培 常温 冷蔵 冷凍
その他 ())

寄託物の使用 ☐ 品種類似性試験の試料として使用
☐ 判定調査の試料として使用
☐ DNAの抽出

- 4 寄託物の提出時期及びその方法（希望する提出方法の前の□にレをつけてください。）

寄託物の提出時期 年 月 日頃
寄託物の提出方法 ☐持ち込み
 ☐送付
 ☐侵害状況記録の作成に係る調査に際して提出済
 （作成依頼書の提出年月日： 年 月 日）
 ☐品種類似性試験に際して提出済
 （品種類似性試験整理番号 ）
 ☐種苗の生産に際して提出済（生産整理番号 ）

5 その他参考となる事項（特別な栽培管理が必要な場合は、管理方法等）

6 連絡先（担当者）

住 所 〒 _____
所 属 _____
氏 名 _____
電話番号（内線） _____ - _____ （ ）
FAX 番号 _____ - _____
E-mail アドレス _____

7 添付書類の目録（添付書類名の前の☐にレをつけてください。）

☐委任状（代理人による依頼の場合）
☐その他 （ ）
（注）「その他」の場合、（ ）中に具体的に記入してください。

（記入上の注意）

- ① 黒又は青のインクで自書するか、ワープロソフトで記入してください。
- ② 依頼者が複数の場合は、依頼者記入欄を増やして全員の氏名又は名称、住所又は居所、電話番号を記入してください。
- ③ 「2 依頼理由」の記述に当たっては、侵害の疑いのある者の氏名又は名称（代表者名）、住所などを明確にし、経過を記入してください。
- ④ 依頼者と連絡先が同一の場合は、「7 連絡先（担当者）」の欄は、FAX 番号及び E-mail アドレスを除いて省略できます。依頼者が法人又は複数の場合は、担当者又は代表者の連絡先を必ず記入してください。
- ⑤ 専用利用権者が依頼する場合は、専用利用権者であることを証明する書類を添付してください。代理人が依頼する場合は、必ず委任状を添付してください。
- ⑥ 寄託物の保管期間は1年間です。1年間を超えて寄託の更新を希望する場合は、保管期間が終了する前日までに寄託更新依頼書を提出してください。

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
種苗管理センター所長

(元号) 年 月 日付けで依頼のありました育成者権侵害疑義物品の状況の調査について、調査の結果確認した内容を以下のとおり通知します。

- | | |
|---|---|
| 1 | 記録書整理番号 |
| 2 | 依頼のあった登録（又は出願）品種の植物の種類、品種名称及び登録（又は出願）番号 |
| | 植物の種類 |
| | (1) 品種名称 |
| | 登録（出願）番号 |
| | (2) 品種名称 |
| | 登録（出願）番号 |
| 3 | 依頼のあった侵害の疑いのある品種の名称（加工品の場合は、商品、製造業者及び販売業者の名称） |
| 4 | 調査の日時 |
| 5 | 調査場所並びに種苗、収穫物又は加工品の販売者及び担当者 |
| 6 | 調査を行ったセンター職員の氏名 |
| 7 | 依頼者側の担当者 |
| 8 | 調査結果等 |
| 9 | 添付資料 |

以上

17

番 号
年 月 日

殿

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
種苗管理センター所長

寄託開始通知書

(元号) 年 月 日付けで依頼のありました (植物の種類) の
「 (品種名称) 」に係る寄託 (の更新) について、下記のとおり開始しました
ので通知します。

なお、寄託物の保管期間は原則として1年間で、下記の寄託の終了予定年月日を過ぎた
寄託物は、当センターにおいて廃棄することとしています。1年を超えて寄託の継続を希
望する場合は、下記の寄託の終了予定年月日の前日までに、寄託更新依頼書を当センター
に提出してください。

記

- 1 寄託整理番号
- 2 保管場所
- 3 (受領時の) 寄託物の形態、状態及び数量
形態
状態
数量
- 4 寄託を開始する年月日
- 5 寄託の終了予定年月日
- 6 寄託物の使用予定

【施行注意】

※ 1 寄託の依頼が複数ある場合、記の 1 から 6 を別紙として通知する。

寄託更新依頼書

年 月 日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター所長 殿

(ふりがな)

(依頼者) 氏名又は名称 _____

(代表者氏名) _____

住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____ - _____

下記により、寄託の更新を依頼します。

記

- 1 寄託整理番号
- 2 寄託を開始した年月日
- 3 寄託物の植物の種類及び品種名
- 4 寄託の更新を依頼する特別な理由（保管期間が通算で3年間を超える場合に記入。）

5 連絡先（担当者）

住 所 〒 _____

所 属 _____

氏 名 _____

電話番号（内線） _____ - _____ （ _____ ）

FAX 番号 _____ - _____

E-mail アドレス _____

（記入上の注意）

- ① 黒又は青のインクで自書するか、ワープロソフトで記入してください。
- ② 依頼者が複数の場合は、依頼者記入欄を増やして全員の氏名又は名称、住所又は居所、電話番号を記入してください。
- ③ 依頼者と連絡先が同一の場合は、「5 連絡先（担当者）」の欄は、FAX 番号及び

E-mail アドレスを除いて省略できます。依頼者が法人又は複数の場合は、担当者又は代表者の連絡先を必ず記入してください。

- ④ 寄託された種苗等の保管期間は、訴訟等の特別な理由がない限り、通算で3年間以内とします。
- ⑤ 寄託物の保管期間は1年間です。1年間を超えて寄託の更新を希望する場合は、保管期間が終了する前日までに寄託更新依頼書を提出してください。

寄託物の管理の立会い依頼書

年 月 日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター所長 殿

(ふりがな)

(依頼者) 氏名又は名称 _____

(代表者氏名) _____

住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____ - _____

品種保護対策業務実施規程（以下「実施規程」という。）第 12 条の 2 第 2 項の規定により、下記により寄託物の管理の立会いを依頼します。

また、私は、実施規程の内容を理解した上で、その内容に従うことに同意します。

記

1 寄託物の植物の種類、品種名称及び寄託整理番号

植物の種類

品種名称

寄託整理番号 第 号

2 依頼する内容

寄託物の管理の立会いを希望する時期

寄託物の管理の立会いを希望する場所の名称、住所、電話番号

名称：

住所：〒

電話番号：

立会いを希望する寄託物の管理の実施内容

3 依頼理由（依頼に至った経緯について、できるだけ詳細に記入してください。）

4 その他参考となる事項

5 連絡先（担当者）

住 所 〒 _____
所 属 _____
氏 名 _____
電話番号（内線） _____ - _____ - _____（ ）
FAX 番号 _____ - _____
E-mail アドレス _____

6 添付書類の目録（添付書類名の前の□にレをつけてください。）

☐ 委任状（代理人による依頼の場合）

☐ その他 （ ）

（注）「その他」の場合、（ ）中に具体的に記入してください。

（記入上の注意）

- ① 黒又は青のインクで自書するか、ワープロソフトで記入してください。
- ② 依頼者が複数の場合は、依頼者記入欄を増やして全員の氏名又は名称、住所又は居所、電話番号を記入してください。
- ③ 「3 依頼理由」の記述に当たっては、侵害の疑いのある者の氏名又は名称（代表者名）、住所などを明確にし、経過を記入してください。
- ④ 依頼者と連絡先が同一の場合は、「5 連絡先（担当者）」の欄は、FAX 番号及び E-mail アドレスを除いて省略できます。依頼者が法人又は複数の場合は、担当者又は代表者の連絡先を必ず記入してください。
- ⑤ 専用利用権者が依頼する場合は、専用利用権者であることを証明する書類を添付してください。代理人が依頼する場合は、必ず委任状を添付してください。

寄託物の記録作成依頼書

年 月 日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター所長 殿

(ふりがな)

(依頼者) 氏名又は名称 _____

(代表者氏名) _____

住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____

品種保護対策業務実施規程（以下「実施規程」という。）第 12 条の 2 第 5 項の規定により、下記により寄託物の記録書の作成を依頼します。

また、私は、実施規程の内容を理解した上で、その内容に従うことに同意します。

記

1 寄託物の植物の種類、品種名称及び寄託整理番号

植物の種類

品種名称

寄託整理番号 第 号

2 記録の作成を依頼する作業の日時及び内容

2 に対して 日時 年 月 日

内容

3 依頼理由（依頼に至った経緯について、できるだけ詳細に記入してください。）

4 作業記録書の受領希望時期 年 月 日頃

5 複本の必要部数 部

6 その他参考となる事項

7 連絡先（担当者）

住 所 〒 _____
所 属 _____
氏 名 _____
電話番号（内線） _____ — — () _____
FAX 番号 _____ — — _____
E-mail アドレス _____

8 添付書類の目録（添付書類名の前の□にレをつけてください。）

☐ 委任状（代理人による依頼の場合）

☐ その他 （ ）

（注）「その他」の場合、（ ）中に具体的に記入してください。

（記入上の注意）

- ① 黒又は青のインクで自書するか、ワープロソフトで記入してください。
- ② 依頼者が複数の場合は、依頼者記入欄を増やして全員の氏名又は名称、住所又は居所、電話番号を記入してください。
- ③ 「3 依頼理由」の記述に当たっては、侵害の疑いのある者の氏名又は名称（代表者名）、住所などを明確にし、経過を記入してください。また、寄託物や記録の作成を依頼する作業に係る資料を訴訟の証拠書類として利用している場合には、その情報についても差し支えない範囲で記入してください。
- ④ 依頼者と連絡先が同一の場合は、「7 連絡先（担当者）」の欄は、FAX 番号及び E-mail アドレスを除いて省略できます。依頼者が法人又は複数の場合は、担当者又は代表者の連絡先を必ず記入してください。
- ⑤ 専用利用権者が依頼する場合は、専用利用権者であることを証明する書類を添付してください。代理人が試験を依頼する場合は、必ず委任状を添付してください。

番 号
年 月 日

殿

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
種苗管理センター所長

寄託物の記録書

(元号) 年 月 日付けで依頼のありました、(元号) 年 月 日に実施した寄託物に係る管理作業について、品種保護対策業務実施規程第12条の2第1項に基づき立会いを行いましたので、以下のとおり通知します。

- 1 依頼のあった寄託物の植物の種類、品種名称及び寄託整理番号
植物の種類
品種名称
寄託整理番号 第 号
- 2 依頼のあった作業の日時と実施した作業内容
日時
内容
- 3 立ち会った種苗管理センター職員（以下「センター職員」という。）の氏名並びに当時の所属及び役職
- 4 依頼者側の担当者（以下「依頼者」という。）の氏名並びに当時の所属及び役職
- 5 作業内容
- 6 写真資料 枚

以上

(本記録書の無断複製を禁止します。)

寄託物返還請求書

年 月 日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター所長 殿

(ふりがな)

(請求者) 氏名又は名称 _____

(代表者氏名) _____

住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____ - _____

下記により、寄託した種苗等の返還を請求します。

記

1 寄託整理番号

2 寄託物の植物の種類及び品種名

3 返還を希望する寄託物の形態及び数量

4 返還を希望する寄託物の返還方法

返還時期 年 月 日頃

返還方法 ☐ 持ち出し

☐ 送付

5 送付先（送付の場合）

住 所 〒 _____

あて先 _____

電話番号（内線） _____ - _____ ()

6 連絡先（担当者）

住 所 〒 _____

所 属 _____

氏 名 _____

電話番号（内線） _____ - _____ ()

FAX 番号 _____

E-mail アドレス _____

(記入上の注意)

- ① 黒又は青のインクで自書するか、ワープロソフトで記入してください。
- ② 依頼者が複数の場合は、依頼者記入欄を増やして全員の氏名又は名称、住所又は居所、電話番号を記入してください。
- ③ 依頼者と連絡先が同一の場合は、「6 連絡先（担当者）」の欄は、FAX 番号及び E-mail アドレスを除いて省略できます。依頼者が法人又は複数の場合は、担当者又は代表者の連絡先を必ず記入してください。
- ④ 代理人が返還を請求する場合は、必ず委任状を添付してください。
- ⑤ 返還方法が送付の場合は、送料は依頼者の負担になります。
- ⑥ 返還する寄託物の形態及び数量は希望に添えない場合があります。また、数量は原則として提出時の数量を越えることはできません。

番 号
年 月 日

殿

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
種苗管理センター所長

寄託証明書

(元号) 年 月 日付けで返還の請求がありました (植物の種類) の
「 (品種名称) 」に係る寄託について、下記のとおり証明します。

記

- 1 寄託整理番号
- 2 植物の種類
- 3 品種名称
- 4 寄託を開始した年月日
- 5 寄託物を返還した年月日
- 6 保管場所
- 7 寄託物の形態及び数量

8 寄託依頼者

氏名又は名称 _____

(代表者氏名) _____

住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____

【施行注意】

※ 1 返還の依頼が複数ある場合、記の 1 から 7 を別紙として通知する。

※ 2 寄託物の送付先が寄託依頼者の住所と異なる場合は、以下の注意書きを付す。

注) 依頼者からの要望により、以下の宛先に返還する。

住所 〒 _____

宛先 _____

種苗の生産依頼書

年 月 日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター所長 殿

(ふりがな)

(依頼者) 氏名又は名称 _____

(代表者氏名) _____

住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____ - _____

品種保護対策業務実施規程（以下「実施規程」という。）第14条の2の規定により、下記により種苗の生産を依頼します。

また、私は、実施規程の内容を理解した上で、その内容に従うことに同意します。

なお、第19条の規定に基づき、種苗を生産できなかった場合でも手数料の返還要求及びこのことによって生じた損害に対しても一切の責任請求はいたしません。

記

1 種苗の生産目的

- ☐ 品種類似性試験の種苗に利用するため
- ☐ 寄託に利用するため
- ☐ 判定調査の種苗に利用するため

※1 該当する目的にレ点を付してください。

※2 寄託に利用するための種苗の生産は、そのままでは消失する可能性のある形態（例：切り花）の場合に限ります。

※3 判定に利用する場合は、後日、判定の受理の通知の写しを提出してください。

2 増殖品種の植物の種類、名称

植物の種類

品種名称

依頼者が品種登録（出願）者と異なる場合、以下に記入してください。

氏名又は名称

(代表者名)

住 所

電話番号

3 試料の提出時期及びその方法（該当する□にレをつけてください。）

試料の提出時期 年 月 日頃

試料の提出方法 □持ち込み

□送付

□侵害状況記録の作成に係る調査に際して提出済

（作成依頼書の提出年月日： 年 月 日）

□品種類似性試験に際して提出済

（品種類似性試験整理番号 ）

□寄託に際して提出済（寄託整理番号 ）

4 提出可能な試料の形態（種子、植物体の一部器官等の名称）及び数量

（センターに提出済みの種苗等を使用する場合は不要です。）

5 連絡先（担当者）

住 所 〒 _____

所 属 _____

氏 名 _____

電話番号（内線） _____ - _____ （ ）

FAX 番号 _____ - _____

E-mail アドレス _____

（記入上の注意）

- ① 黒又は青のインクで自書するか、ワープロソフトで記入してください。
- ② 依頼者が複数の場合は、依頼者記入欄を増やして全員の氏名又は名称、住所又は居所、電話番号を記入してください。
- ③ 依頼者と連絡先が同一の場合は、「5 連絡先（担当者）」の欄は、FAX 番号及び E-mail アドレスを除いて省略できます。依頼者が法人又は複数の場合は、担当者又は代表者の連絡先を必ず記入してください。
- ④ 代理人が種苗の生産を依頼する場合は、必ず委任状を添付してください。

番 号
年 月 日

殿

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
種苗管理センター所長

（植物の種類）（ 提出種苗 ・ 寄託物 ）からの種苗の生産結果報告書

（元号） 年 月 日付け（ で種苗の生産依頼を受けた ・ の依頼により寄託を実施している ） （植物の種類）の「 （品種名称）」について、種苗の生産結果を以下のとおり通知します。

- ※1 生産された種苗について（ 比較栽培 ・ 寄託 ）の実施が可能です。
- ※2 なお、今回の種苗の生産による母株数では（ 比較栽培 ・ 農林水産省の判定 ）の必要株数を確保するには不十分です。詳細は担当者までお問い合わせください。
- ※3 なお、必要な種苗が生産されませんでした。（ 実施規程第5条第5項に基づき、品種類似性試験を実施できない旨通知します。 ・ 実施規程第8条第4項に基づき、寄託を実施できない旨通知します。 ）

記

種苗の生産結果

植物名	品種の名称	生産された母株数（株）

（担当） 試験・検査部品種保護対策課
電話番号 029-838-6589

【施行注意】

- ※1 種苗の生産が成功した場合に記す。
- ※2 品種類似性試験又は判定を希望されている場合であって、それらの実施には生産された母株数が比較栽培の実施には不十分な場合に記す。
- ※3 種苗の生産が成功しなかった場合に記す。
- ※4 生産の依頼が複数ある場合、記を別紙として通知する。

種苗の生産返還請求書

年 月 日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター所長 殿

(ふりがな)

(請求者) 氏名又は名称 _____

(代表者氏名) _____

住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____ - _____

下記により、種苗の生産に係る植物体及び種苗の返還を請求します。

記

- 1 種苗の生産整理番号
- 2 増殖品種の植物の種類及び品種名称
- 3 返還を希望する植物体及び種苗の形態、数量

- 4 返還を希望する植物体及び種苗の返還方法

返還時期 年 月 日頃

返還方法 ☐ 持ち出し

☐ 送付

- 5 送付先（送付の場合）

住 所 〒 _____

あて先 _____

電話番号（内線） _____ - _____ ()

- 6 連絡先（担当者）

住 所 〒 _____

所 属 _____

氏 名 _____

電話番号（内線） — — ()
FAX 番号 — —
E-mail アドレス _____

（記入上の注意）

- ① 黒又は青のインクで自書するか、ワープロソフトで記入してください。
- ② 依頼者が複数の場合は、依頼者記入欄を増やして全員の氏名又は名称、住所又は居所、電話番号を記入してください。
- ③ 依頼者と連絡先が同一の場合は、「6 連絡先（担当者）」の欄は、FAX 番号及び E-mail アドレスを除いて省略できます。依頼者が法人又は複数の場合は、担当者又は代表者の連絡先を必ず記入してください。
- ④ 代理人が返還を請求する場合は、必ず委任状を添付してください。
- ⑤ 返還方法が送付の場合は、送料は依頼者の負担になります。
- ⑥ 返還する植物体及び種苗の形態及び数量は希望に添えない場合があります。また、数量は原則として提出時の数量を越えることはできません。

(品種類似性試験
侵害状況記録の作成 依頼者の名義等変更届
寄託
種苗の生産) *

年 月 日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター所長 殿

(ふりがな)

(依頼者) 氏名又は名称 _____

(代表者氏名) _____

住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____

年 月 日付けで貴センターに対して依頼しました(品種類似性試験・侵害状況記録の作成・寄託・種苗の生産)*につきまして、下記のとおり届け出ます。

記

1 変更内容

(変更前) 依頼者

(ふりがな)

氏名又は名称 _____

(代表者氏名) _____

住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____

(変更後) 依頼者

(ふりがな)

氏名又は名称 _____

(代表者氏名) _____

住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____

2 変更理由

3 連絡先（担当者）

住 所 〒 _____
所 属 _____
氏 名 _____
電話番号（内線） _____ - _____ (_____)
FAX 番号 _____ - _____
E-mail アドレス _____

（記入上の注意）

- ① 黒又は青のインクで自書するか、ワープロソフトで記入してください。
- ② () *の中は、該当するものを○で囲んでください。
- ③ 依頼者が複数の場合は、依頼者記入欄を増やして全員の氏名又は名称、住所又は居所、電話番号を記入してください。
- ④ 依頼者と連絡先が同一の場合は、「4 連絡先（担当者）」の欄は、FAX 番号及び E-mail アドレスを除いて省略できます。依頼者が法人又は複数の場合は、担当者又は代表者の連絡先を必ず記入してください。

(品種類似性試験
侵害状況記録書) *
複本請求書

年 月 日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
種苗管理センター所長 殿

(請求者) 氏名又は名称 _____

(代表者氏名) _____

住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____

下記により (品種類似性試験報告書 ・ 侵害状況記録書) * の複本を請求します。

記

- 1 試験報告書又は記録書の整理番号
- 2 比較品種 (侵害が疑われている品種) の名称
- 3 複本の受領希望時期 年 月 日頃
- 4 複本の必要部数 部

(注) () * の中は、該当するものを○で囲んでください。

(記入上の注意)

- ① 黒又は青のインクで自書するか、ワープロソフトで記入してください。
- ② 依頼者が複数の場合は、請求者記入欄を増やして全員の氏名又は名称、住所又は居所、電話番号を記入してください。
- ③ 2 は依頼した侵害の疑われる品種を転記してください。
- ④ 専用利用権者が請求する場合は、専用利用権者であることを証明する書類を添付してください。代理人が依頼する場合は、必ず委任状を添付してください。

(品種類似性試験
侵害状況記録の作成 取下げ申請書
寄託
種苗の生産) *

年 月 日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター所長 殿

(ふりがな)

(申請者) 氏名又は名称 _____

(代表者氏名) _____

住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____

年 月 日付けで貴センターに対して依頼しました(品種類似性試験・侵害状況記録の作成・寄託・種苗の生産)*につきまして、依頼の取下げを申請します。

記

- 1 登録(又は出願)品種の植物の種類、品種名称及び登録(又は出願)番号
(寄託又は種苗の生産の場合は記入不要)

植物の種類

品種名称

登録(出願)番号

- 2 比較品種の名称
(寄託又は種苗の生産の場合は寄託物の植物の種類、品種の名称)

- 3 取下げ理由

- 4 連絡先(担当者)

住 所 〒 _____

所 属 _____

氏 名 _____

電話番号(内線) _____ ()

FAX 番号 _____

E-mail アドレス _____

(記入上の注意)

- ① 黒又は青のインクで自書するか、ワープロソフトで記入してください。
- ② () *の中は、該当するものを○で囲んでください。
- ③ 依頼者が複数の場合は、依頼者記入欄を増やして全員の氏名又は名称、住所又は居所、電話番号を記入してください。
- ④ 申請者と連絡先が同一の場合は、「4 連絡先(担当者)」の欄は、FAX 番号及び E-mail アドレスを除いて省略できます。依頼者が法人又は複数の場合は、担当者又は代表者の連絡先を必ず記入してください。

番 号
年 月 日

農 林 水 産 大 臣 殿

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

理事（種苗管理、事業開発担当）

鑑定について（報告）

（元号） 年 月 日付け （文書番号） をもって囑託がありました（植物名）の「 （登録品種名） 」と「 （侵害の疑いのある品種名） 」の鑑定の結果について、別添のとおり報告します。

別添

鑑定結果報告書

1 鑑定整理番号

2 嘱託の内容

3 鑑定資料

(1) 資料受領年月日 (元号) 年 月 日

(2) 資料の内容

4 鑑定を実施した場所、期間及び担当者

(1) 実施場所・所在地：

(2) 実施期間 (元号) 年 月 日 ～ (元号) 年 月 日

(3) 鑑定担当者名：

5 鑑定方法

6 鑑定結果

7 添付書類